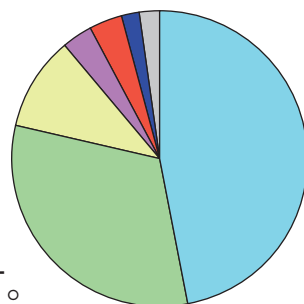


Q1 お住いの支部地域（回答者の分布）

全会員の55%にあたる344件の回答をいただきました。内訳は右記のとおりです。

★防災について関心が高まっていることを感じました。

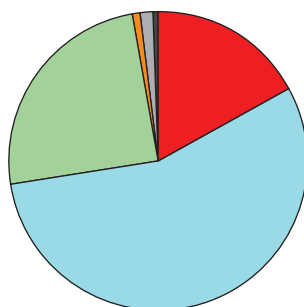


FG 団地	162 件	(47%)
前沼	109 件	(31%)
見通り	35 件	(10%)
大境第2	12 件	(4%)
西竹一丁目	12 件	(4%)
D 団地	7 件	(2%)
わからない	7 件	(2%)

Q2 お住いの世帯人数

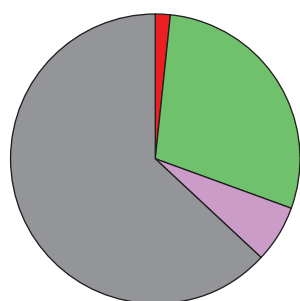
17%の方がお一人世帯です。

★不安を減らせるような取り組みを今後検討できればと思います。



1人	59 件	(17%)
2～3人	191 件	(55%)
4人以上	85 件	(25%)
明かしたくない	3 件	(1%)
空欄	5 件	(1%)
入院中	1 件	(1%)

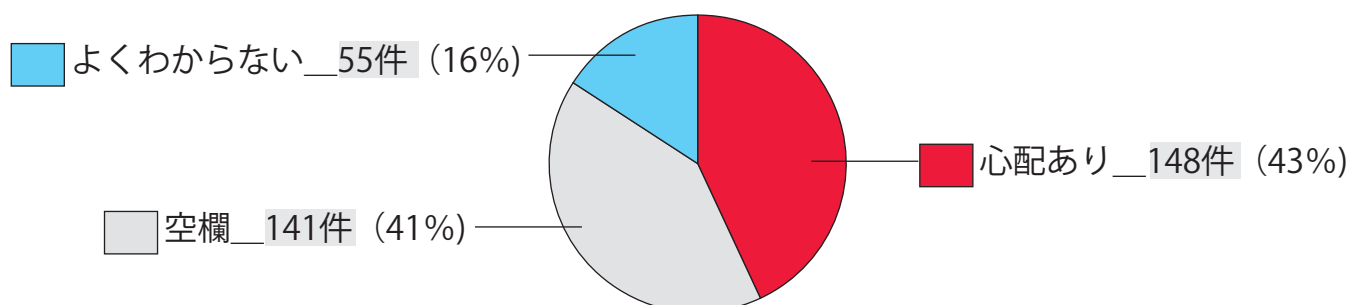
Q3 お住まいの世帯のうち選択肢に当てはまる人がいれば✓チェックをつけてください



粉ミルクが必要な乳幼児がいる、または増える予定	5 件	(1%)
生理用品が必要な女性がいる	100 件	(29%)
その他	22 件	(7%弱)
特になしまたは空欄	217 件	(63%)

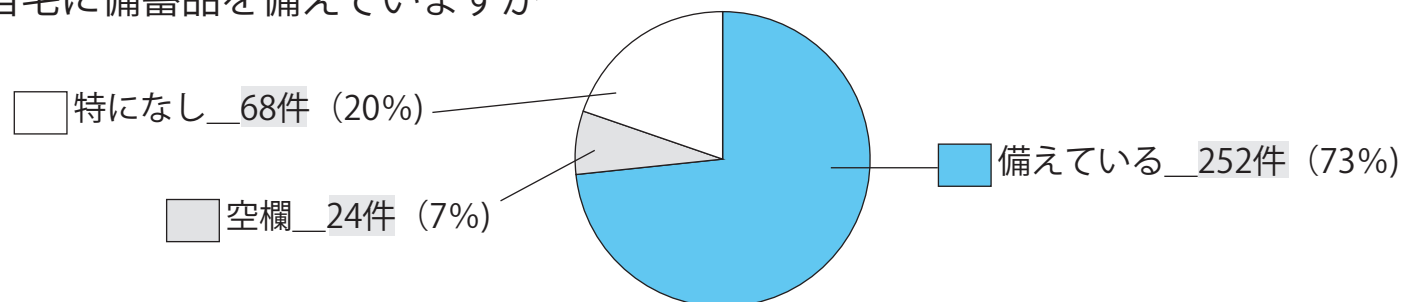
選択肢のうち、生理用品が必要な世帯が29%でしたので今後備蓄品として検討いたします。その他意見の中には各種介護用品や成人用オムツ、幼児食を挙げた方もいらっしゃいました。

Q4 災害への対処と備えについて心配に思うことはありますか



・自宅の損傷やライフラインの確保が心配・備蓄が心配・身体が不自由なため避難が難しい
・ペットがいるので避難所へ行けない・一人住まいなので不安・震災による火災発生
・突然の豪雨による水害が心配・子どもが小さいので避難所で周りの迷惑にならないか
・地域の放送が聞こえにくい・自宅の耐震性・外出中の被災・各班での交流や連絡網
・高齢のため行動力に不安がある・新生児の食事やオムツの準備
など、たくさんのご意見をいただきました。

Q5 自宅に備蓄品を備えていますか



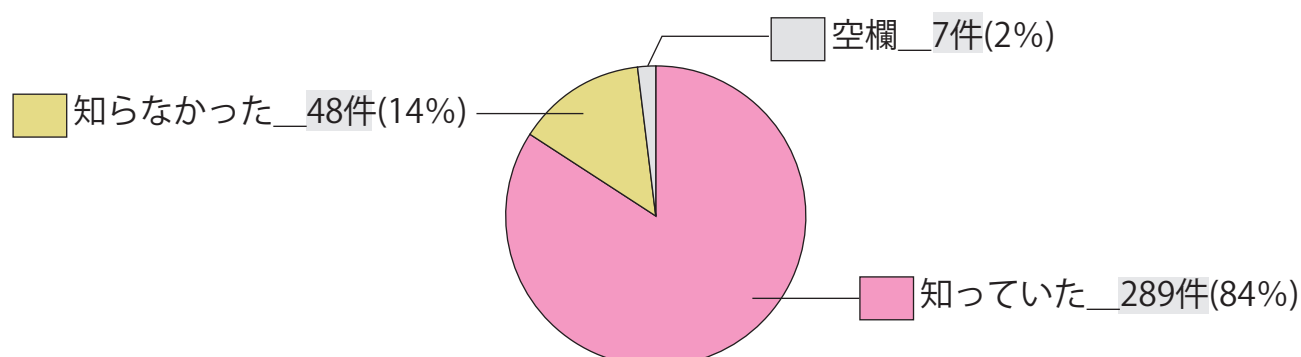
73%の世帯が自宅で何らかの備蓄をしていました。

・水・食品いろいろ・簡易トイレ・乾電池・ポータブル電源・防災リュック・懐中電灯
・ラジオ・モバイルバッテリー・湯たんぽ・カセットコンロ・炊飯器具・衛生用品・炭
など、様々な回答をいただきました。特に、水を備蓄している世帯は非常に多かったです。

Q6 自治会で備蓄したらいいと思うものはありますか

- ・ポータブル電源・充電器・毛布など暖が取れるもの・カイロ
 - ・食品・水・簡易トイレ・ブルーシート・避難所の間仕切り
 - ・着替え用巻きタオル・衛生用品・生理用品・カセットコンロ
 - ・ガスボンベ・救急箱・ヘルメット・段ボールベッド・懐中電灯
 - ・アルミシート・AED・冷暖房室・発電機・乾電池・エアベッド
 - ・モバイルバッテリー・ゴムボート
- などが上がりました。（順不同）

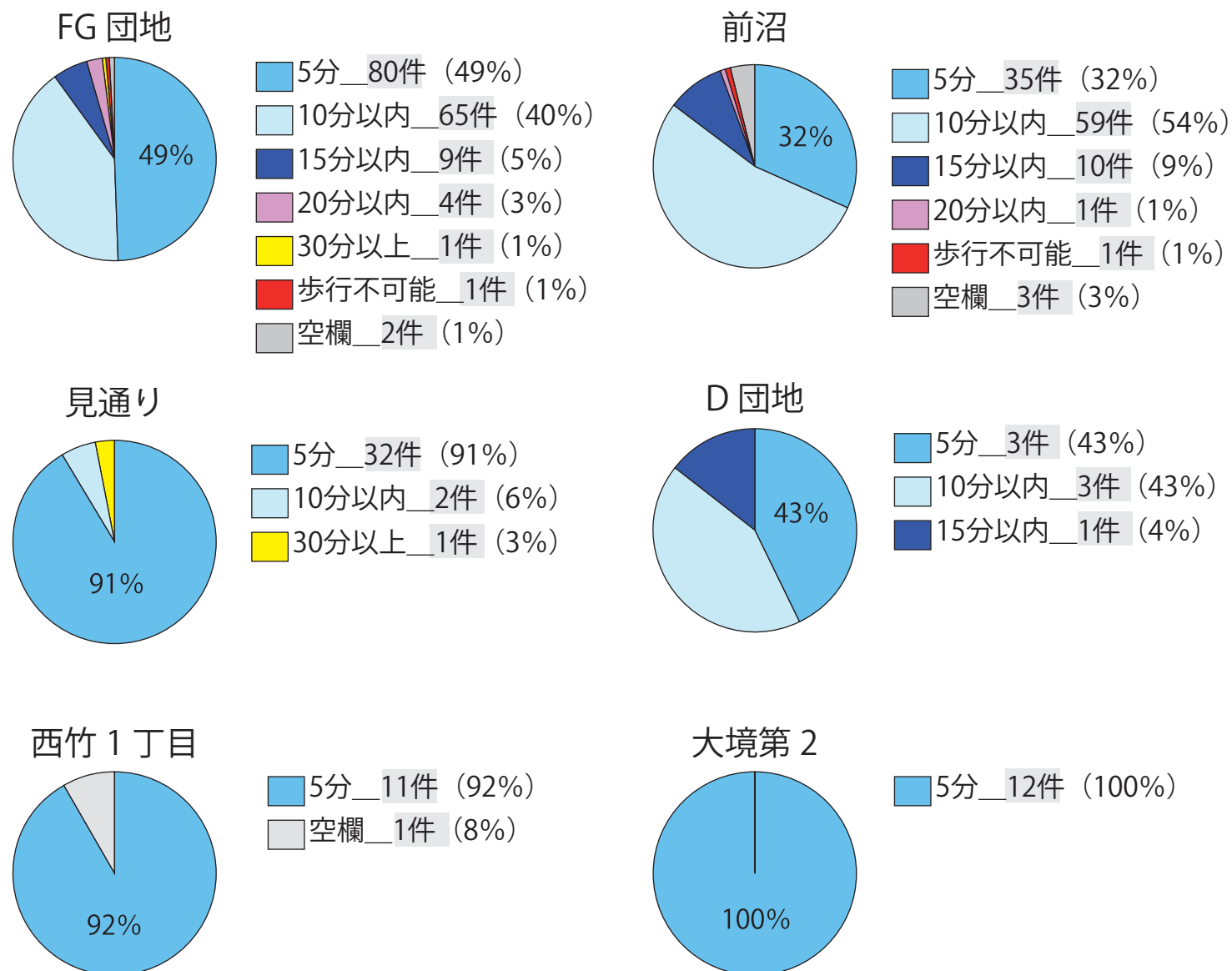
Q7 地域の一次避難所は第十四中学校である事をご存知ですか



★今回は全地域の中心である第十四中がどれだけ認識されているかを確認しました。
実際は『栗原北小学校』も一次避難所ですので、ご自宅から近い方へ避難して下さい。

また、状況によっては自宅にとどまることが最善の場合もあります。

Q8 一次避難所（十四中）まで自宅から自分の足で歩いて何分かかりますか



5分以内…大境第二100% 西竹一丁目92% 見通り91% FG団地49% D団地43% 前沼32%

*FG団地…大多数の世帯が第十四中へ10分以内に移動可能ですが、色々な理由で避難が難しい方もいます。

*前沼…多数の世帯が第十四中へ10分以内に移動可能ですが距離がある世帯、避難が難しい方もいます。

*見通り…大多数の世帯が第十四中へ5分以内に移動可能ですが、避難に時間がかかる方もいます。

*D団地…多数の世帯が第十四中へ5分以内に移動可能ですがやや時間がかかる世帯もあります。

*西竹1丁目…ほぼ全世帯が第十四中へ5分以内に移動可能です。

*大境第2…全世帯が第十四中へ5分以内に移動可能です。

★上記は、あくまで目安としてお聞きしました。

一次避難所への集合は必須ではないため、各自状況を確認して自宅に留まることも検討してください。

★30分以上または歩行不可能な方へどのようなサポートを地域で行えるのか考える必要があります。アイデアをお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご意見を頂けるとありがたいです。

Q9 ご自分の世帯にとって、災害についてどんなモノまたは事を大切と考えますか

多かったのは、

- ・自分や家族の安全・家族の安否確認や連絡・子供の安全な避難・ご近所との連携
- ・水や食料の確保など災害への備え

他に、

- ・情報の共有・火災を出さないこと・ペットも安全に避難すること・現金を準備
- ・なるべく自宅にとどまり安全を確保すること・水災害には垂直避難
- ・避難所でのプライバシー確保・災害積立金の活用

など様々な意見をいただきました。

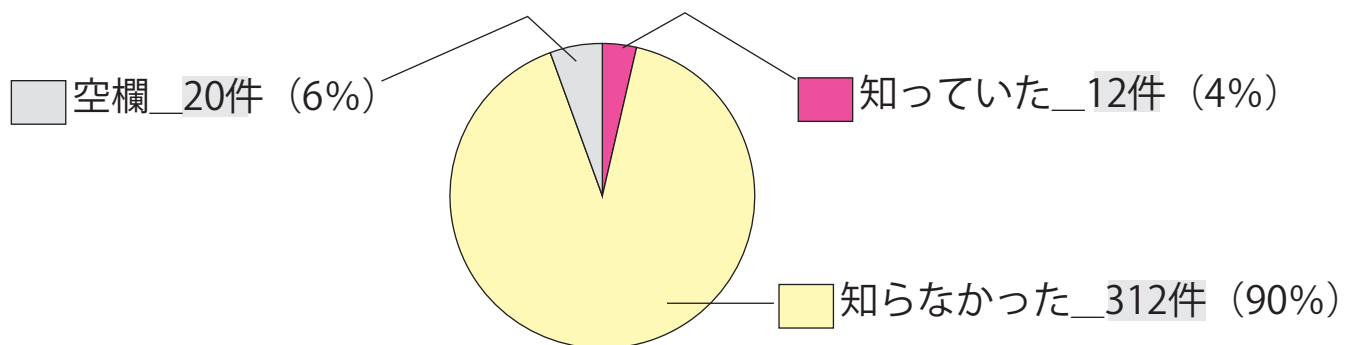
Q10 町内会の防災関連活動に何を期待しますか

- ・地域の助け合い・連絡網の充実・防災訓練の実施・防災講座の開催・防犯対策
- ・災害グッズの配布・備蓄品の充実・最低限の消火活動・避難所運営マニュアルの作成
- ・補助が必要な方への援助・様々な情報発信・役所との連携」

など、その他たくさんの意見をいただきました。

できることから充実させていきたいと思います。

Q11 伊興町自治会は防災士資格取得に助成金をしているのを知っていましたか



今年も1名、前沼地区から合格者が出ました。今後も、より周知をしていきたいと思います。来年度の受験に興味がある方はお気軽にご連絡ください。

以上、2024年8月に全会員宛に配布した防災アンケートの集計結果を報告しました。たくさんの回答をいただき本当にありがとうございました。いざ災害が起こった時に足立区や伊興町自治会が過不足なく避難のお手伝いができるかどうかは状況によるため、残念ながら保証することができないのですが、今回の結果を受けて、まず平時の取り組みをもっと充実させていきたいと思いました。情報の共有や、備蓄品の検討、防災訓練の企画などを通して『地域全体の防災力』を高めることで、より安心して暮らせるといいなと思います。また、サポートメンバーを募集しております。会員さんからのアイデアもお待ちしておりますので、お気軽にご意見お寄せください。

伊興町自治会 WEB ページ

伊興町自治会 | 検索

<https://www.chokai.info/ikochou/>

